令和5年7月1日現在
（前回公表日令和5年7月1日）

国際自動車学科の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
専門学校日本工科大学校	平成7年2月14日	矢部　宰文	〒678-8001 兵庫県姫路市兼田383-22 （電話）079-246-5888
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人誠和学院	平成7年2月14日	中農　一也	〒678-8001 兵庫県姫路市兼田383-22 （電話）079-246-5888

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
工業	工業専門課程	国際自動車工学科	平成29年文部科学省認定	

学科の目的	地域から自動車整備部門の技術者養成に関して強い要請があり、地域ニーズに対応すべく自動車工学科を開設し、高い技術と資格を持った人材を育成し、地域社会に貢献することを目的とする。
認定年月日	令和4/2/17

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3　年	昼間	2,030	686	0	1,344	0	0 時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
150人	133人	133人	5人	0人	5人

学期制度	■前期：4月3日～8月1日 ■後期：9月9日～2月14日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 定期試験、提出課題、小テスト、レポート、受講態度、出席状況を総合して評価
長期休み	■学年始：4月3日 ■夏　季：8月2日～9月8日 ■冬　季：12月25日～1月7日 ■学年末：2月17日～3月31日	卒業・進級条件	・全講義・実習時間の90%以上出席 ・評価が60点以上
学修支援等	有 ■個別相談・指導等の対応 ・学期に1回以上の個人懇談の実施 ・さらに、長欠者や学力不振者に対しては三者面談の定期的な実施	課外活動	■課外活動の種類 ・学校周辺清掃活動 ■サークル活動：　無
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和2年度卒業生） 県内、県外の優良自動車デーラー各社 ■就職指導内容 ・校内会社説明会の実施 ・会社訪問の調整と積極的訪問奨励 ・進路指導に関する個別面談の実施 ■卒業者数：　49　人 ■就職希望者数：　49　人 ■就職者数：　49　人 ■就職率　100　% ■卒業者に占める就職者の割合：　100　% ■その他 ・進学者数：　0人 令和４年度卒業者に関する令和５年５月１日時点の情報	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報） ■自由記述欄 特記事項なし

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
2級ガソリン自動車整備士	②	49人	42人
2級ジーゼル自動車整備士	②	49人	48人
電気自動車整備特別講習	③	49人	49人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

中途退学の現状	■中途退学者　4 名　■中退率　3 % 令和5年4月1日時点において、在学者132名（令和5年4月1日入学者を含む） 令和6年3月31日時点において、在学者128名（令和6年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 （例）学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 ・進路変更 ・学業不振 ■中退防止・中退者支援のための取組 （例）カウンセリング・再入学・転科の実施等 ・個別面談 ・三者面談 ・基礎学力補充
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　（有）・無 ※学費免除入試を行い、学力、リーダーシップ、向上心、コミュニケーション能力などの観点から授業料免除者を選考している。 ■専門実践教育訓練給付：　給付対象・（非給付対象） ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　（有）・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	URL:http://www.seigaku.ac.jp

（留意事項）
1. 公表年月日（※1）
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）
「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。
※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

３．主な学修成果（※３）
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

国土交通省における一種養成校の授業内容を反映させつつも、当校が目指す「即戦力と人間力」を備えた人材育成を実現させるため、企業や業界から自動車業界で必要とされる技術や知識について助言を受けるとともに、企業人を社会人特別講師として招聘し、実際に指導願うなど、実践的な教育の構築に努めている。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での助言・提案事項は、次年度、または次学期の教育課程の編成に反映させるとともに、必要に応じて企業・業界から特別講義・実習として直接学生の指導を願う場を構成する。
・委員会での意見聴取→教育課程の修正を学部内で協議→決裁→実施
・教育課程編成委員会は、学校長の下に設置する。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年7月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
柏木　正寛	兵庫県自動車整備振興会姫路事務所　姫路事務所　課長代理	令和6年4月1日～令和8年3月31日（2年）	①
井戸　孝幸	株式会社スズキ自販兵庫　サービス部長	同上	③
土井　広行	兵庫日産自動車株式会社　採用人材育成部　部	同上	③
中原　佳	トヨタカローラ姫路株式会社　サービス部技術支援室マネージャー	同上	③
川口　勉	株式会社　Tie　Ear　社長	同上	③
矢部　宰文	日本工科大学校　校長	同上	
力丸　　進	日本工科大学校　自動車工学部長	同上	
西本　成孝	日本工科大学校　自動車工学科長	同上	
永城　孝記	日本工科大学校　一級自動車工学科長	同上	
濱　　哲也	日本工科大学校　国際自動車工学科長	同上	
松田　智志	日本工科大学校　車体・カスタム工学科長	同上	

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（7月、11月）
（開催日時（実績））
第1回　令和6年7月24日　16：00～17：30
第2回　令和6年11月6日　16：00～17：30

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
①これまでの活用状況
ハイブリッド車や電気自動車、ITSや自働運転について提言願い、教育課程を編成した。
②今後の計画
急速に進化する自動車に対応できる整備士を養成する観点から助言・提言願う計画である。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業インターンシップや企業人による特別実習を通じて、整備現場の実際や本物の技術に触れさせるなどの取組を進め、自動車業界が必要とする「即戦力と人間力」を育成する。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

②学部の検討委員会で次年度のカリキュラムにどのように反映させるかを検討する。
③また反映させるカリキュラムの指導を企業に依頼するか、教員が指導するかを検討する。
④各学科でシラバスに反映させ、学生にシラバスを配付するとともに、ホームページに掲載する。

（3）具体的な連携の例　※教科数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
エンジン整備実習	ガソリン・エンジン、ディーゼル・エンジンに必要な整備方法を単体エンジン・燃料装置・実習車を使用して点検・分解・組立・調整・検査にて習得する。	株式会社関西マツダ
シャシ整備実習	動力伝達、旋回、走行、制動装置に必要な整備方法を単体部品・実習車を使用して点検・分解・組立・調整・検査にて習得する。	株式会社スズキ自販兵庫
	灯火、点火、充電、開閉、施錠。指導装置に必要な整備方	

電装整備実習	法を単体部品・実習車を使用して点検・分解・組立・調整・検査にて習得する。	いすゞ自動車近畿株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「関西マツダ技術セミナー」(連携企業等：株式会社関西マツダ） 期間：令和5年9月25日　対象：自動車整備士養成

研修名「新技術講習会」(連携企業等：兵庫日産株式会社） 期間：令和5年6月9日　対象：自動車整備士養成課程教員
内容：新型車利用に搭載される新技術への理解

研修名「整備主任者研修会」（連携企業等：兵庫県自動車整備振興会） 期間：令和5年12月8日
対象：自動車整備士主任（場所：兵庫県自動車整備振興会姫路教育会館）
内容：自動車の最新技術と法令

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「EG研修」（連携企業：株式会社NSKKホールディングス） 期間：令和5年8月21日
対象：全教職員
内容：自らの思考と行動特性を理解することで、学生指導に活かす。

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「関西マツダ技術セミナー」(連携企業等：株式会社関西マツダ） 期間：令和6年9月30日　対象：自動車整備士養成

研修名「整備主任者研修会」（連携企業等：兵庫県自動車整備振興会） 期間：令和6年日程未定
対象：自動車整備士主任者（場所：兵庫県自動車整備振興会姫路教育会館）

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「神奈川トヨタ自動車　留学生指導研修」(連携企業等：神奈川トヨタ自動車株式会社）
期間：令和6年8月21日　対象：留学生指導担当教員

（1）学校関係者評価の基本方針

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	学校の理念、教育目標、人材育成像、将来構想
（2）学校運営	経営方針、事業計画、教職員組織、環境整備、業務改善、学校評価、
（3）教育活動	教育課程、学修時間、指導の工夫改善、企業連携、授業評価、達成
（4）学修成果	就職率、資格取得、社会人スキル・マナー育成、卒業後の活躍状況
（5）学生支援	補充授業、進路指導、学生相談、経済的支援、問題行動防止、保護
（6）教育環境	教室整備、実習等整備、情報機器整備、駐車場・駐輪場整備、学生寮
（7）学生の受入れ募集	募集方法、教員との連携、Web戦略、広報方法、高専連携
（8）財務	財務内容
（9）法令等の遵守	設置基準の遵守、個人情報の取扱、ハラスメント、規範意識
（10）社会貢献・地域貢献	地域貢献事業の推進、社会貢献事業の推進、ボランティア活動の奨
（11）国際交流	留学生の受入体制、留学生への適切な指導

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

①委員の意見「留学生の受入体制や留学生への指導については、87ポイント（満点100ポイント）と高い状況にあり、適切な指導がなされている。」「今後は、自動車業界や企業のニーズを踏まえ、留学生出身の自動車整備士に必要な指導を図ること。」

②活用状況「業界や企業からは、技術的には日本人と比べ劣らないが、日本語能力を高めるよう、意見があったため、教育課程にある日本語指導を週2コマから4コマとした」

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和6年7月１日現在

名　前	所　　属	任期	種別
三　木　健　義	兵庫県建設業協会　姫路支部長	令和5年４月１日～令和7年３月31	企業関係者
上　田　和　則	兵庫県自動車整備振興会　姫路事務所長	令和5年４月１日～令和7年３月31	企業関係者

臼　井　研　二	兵庫県立北条高等学校　校長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31	教育関係者
岩井　高士	兵庫県立兵庫工業高校　校長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31	教育関係者
北　詰　央　始	有限会社井上晴登建設　一級建築士	令和5年4月1日～ 令和7年3月31	卒業生代表
森　本　崇　裕	ネッツトヨタ兵庫姫路　一級自動車整備士	令和5年4月1日～ 令和7年3月31	卒業生代表
山本　涼平	日本工科大学校　AI工学部　講師	令和5年4月1日～ 令和7年3月31	卒業生代表
山下　礼子		令和5年4月1日～ 令和7年3月31	保護者代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係	
（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	教育目標、学校の特色、沿革、学科定員
（2）各学科等の教育	学科の特色、履修科目、カリキュラム、進級・卒業要件、資格取得
（3）教職員	研究活動（次世代自動車、デュアル教育、Society5.0エンジニア）
（4）キャリア教育・実践的職業教育	インターンシップ、企業講師による指導、実習、教育課程編成委員会
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事、地域貢献事業
（6）学生の生活支援	学生相談、学生寮
（7）学生納付金・修学支援	学費、奨学金、学費免除
（8）学校の財務	収支計算書
（9）学校評価	学校自己評価、学生アンケート、学校関係者評価
（10）国際連携の状況	留学生の支援、日本文化理解
（11）その他	学則

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

ホームページ、パンフレット